

大淵地区 生涯学習推進会

人口：13,043人 世帯数：5,266世帯（平成31年1月1日現在）



スローガン

地域住民の互助の精神の育成と健康づくり、教養を深めるための各種運動を展開することにより一人一人の充実した人生の手助けとするとともに、自然環境を守り、明るく、安全で住みよいまちづくりに寄与することを旨とする。



会長 秋山 勝美

沿革

昭和43年7月 富士市社会教育推進協議会の発足に伴って、大淵地区社会教育推進会が秋山登氏を初代会長として発足しました。

発足当初は青少年の健全育成のための補導活動が中心であったが、活動が地域に根付くのに合わせ、地域コミュニティづくりや健康増進が活動に盛り込まれ総合的な社会教育活動に進んできました。

平成6年には富士市連合会の改称に合わせて大淵地区生涯学習推進会と名称を改め現在に至っています。

大淵のみどころ

【大淵生涯学習の特色】

大淵第一、第二小学校区の22町内から「体育保健部」「成人教育部」「青少年育成部」「安全教育部」それぞれ一名ずつの部員が選出され、4部の部員は合計88名、総務部、執行部を合わせて100名を超える組織となっています。4部の部員は2年任期で交代することになっており、毎年ほぼ半数の部員が入れ替わる事によって新鮮な意見が反映される土壌が出来ています。

主要事業である地区文化祭は来場者で溢れるほどの賑わいを誇り、また区民体育祭も市内有数の規模での開催を自負しています。また4部それぞれが独自の事業を主管するほかに地区内諸団体との共同事業も行っており、各団体との連携を保ちながら幅広く活動しています。

【大淵地区の成り立ち】

富士市北部の市域約4分の1の面積を有する大淵地区は、西暦1500年代に武田氏の家臣で甲斐の国から移り住んだ秋山氏および小山氏が開拓した大淵村が発祥と言われており、現在でもこの二つの姓は大淵地区内に多く見られます。

主な産業は茶業をはじめとする農林業でありましたが、住宅地開発による他地域からの移住による人口増加、また新東名高速道路の開通もあり、近年は工業団地開発による企業進出も多くなっています。

地区の大きな財産として茶畑越しに富士山を仰ぐ立地から「大淵笹場」を代表とする富士山絶景ポイントが有名で、近年は他県からの観光客、写真愛好家の来訪が増えています。

生涯学習の活動

【地域とのかかわり】

大淵地区生涯学習推進会は区民体育祭や地区文化祭を筆頭に地区全体を巻き込む行事を通じて住民に寄り添った活動を展開してきました。事業の企画運営にあたっては町内会連合会、スポーツ推進委員、地区婦人会、安全協会、青少年指導委員、地域安全推進員などの各団体に協力を仰いできましたが、まちづくり協議会の発足により、生涯学習推進会の組織体制を保った上で地区全体行事への参画がより一層深いものとなり、特に7月に開催する「大淵ふれあいまつり」では総務部門や会場設営部門が生涯学習推進会の力を発揮する場になっています。青少年の健全育成については青少年指導委員と定期的な巡回活動を行うなど他団体との横の連携も行われています。

【生涯学習推進会の組織と運営】

私たちの組織は「体育保健部」「成人教育部」「青少年育成部」「安全教育部」の4事業部のほか、会長を筆頭とした執行部と総務部で構成されています。

総務部は年間を通じた会の運営と関係諸団体との連絡調整、広報紙「生涯学習だより」の発行による地区住民への情報伝達を担っています。

生涯学習推進会の意思決定は毎年4月全部員参加の総会を経て月一回の定例会によって検討され、また各事業部での懸案事項等も定例会で議論することになっており、それらの会議は総務部が担当しています。

各事業部ごとの部会も事業に合わせて開催され、総会から部会まで一貫した連絡調整が行なわれています。

青少年育成部

青少年育成部は青少年の非行防止と健全育成を主眼に、青少年指導委員との協力のもとでの夜間巡回指導活動や、社会を明るくする運動への参画と、地域の和づくりを目的とした竹細工大会、ふれあいグラウンドゴルフ大会などで親子、地域住民のつながりを深める活動を行っています。夜間巡回指導では非行の芽となる少年少女の出歩きもほとんど見られなくなり、継続的な活動の成果が表れていると感じます。竹細工やグラウンドゴルフでは親子、孫といった世代が一緒に取り組むことによって毎回、微笑ましい光景を見ることができます。



▲親子竹細工大会

成人教育部

成人教育部が担う事業は地域の皆さんの美術への関心を高めるための美術館めぐりから始まります。大型バス1台を用意しますがキャンセル待ちが出るほどの人気事業となっています。メインイベントは毎年10月に開催する文化祭です。会場となるまちづくりセンターは館内外ともに出店と出品で一杯になり、舞台発表の観覧もあって来場者も会場を埋め尽くすほどです。また屋外の出店は地区の多数の団体に支えられ、地区を代表するイベントとなっています。開催にあたっては他の3部も各担当を受け持ち、総力を挙げたイベントになっています。



▲地区文化祭

体育保健部

体育保健部ではスポーツ、レクリエーション活動を通じて地域住民の和と体力づくりを推進しています。主な活動は町内ごとのチーム対抗で争われるソフトボール大会、8月には今年51回目を迎えた、地区を8区に分けて戦う地区区民体育祭が行われ、会場となる大淵公園は大勢の選手と応援の住民で大変なにぎわいとなり、各区の戦い以上に住民同士の大切な交流の場にもなっています。秋には地区のスポーツ推進員の協力をいただき地区親睦スポーツ大会として新しい種目の指導を受けて開催しています。



▲区民体育祭

安全教育部

安全教育部は安全で住みよいまちづくりのため、防犯、防災、交通安全、火災予防を目的に各種の事業を行なっています。防災講習会は近年の日本各地の地震災害から地域での関心も高く、市役所から招いている講師の専門知識や現地での様子などを分かりやすく伝えていただくことで地区の防災意識高揚に役立っています。年度末の救命救急講習会は富士市消防本部救急隊の協力をいただき幅広い救急処置の指導を受けることで災害時だけでなく家庭内の「いざ」にも役立つ知識を身に付けています。



▲防災講演会